

監 査 論

本試験

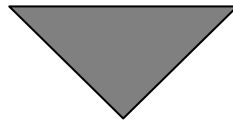
問題 20 「監査における不正リスク対応基準」に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（5 点）

～ 略 ～

ウ. 監査人は、自ら識別した不正による重要な虚偽の表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合には、不正による重要な虚偽の表示があるとして扱わなければならない。

《解答 20》

ウ. 誤 監査人は、識別した不正による重要な虚偽の表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合には、不正による重要な虚偽の表示の疑義があるとして扱わなければならない（監査における不正リスク対応基準「第二 不正リスクに対応した監査の実施」11）。



短答ポイントアップ答練 第 5 回

問題 19 不正リスク対応基準に関する次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組合せの番号を一つ選びなさい。（5 点）

ア. 不正による重要な虚偽の表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合や、識別した不正リスクに対応して追加的な監査手続を実施してもなお十分かつ適切な監査証拠を入手できない場合には、不正による重要な虚偽の表示の疑いがより強くなることから、これを不正による重要な虚偽の表示の疑義と扱わなければならない。

《解答 19》

ア. 正 不正リスク対応基準の設定について 二 4 (3)⑤